

2023年11月24日
公益社団法人 日本軽種馬協会

ストラヴィンスキーの死亡について

日本軽種馬協会静内種馬場で繋養されていたストラヴィンスキー（27歳、父：ヌレイエフ 母：ファイアーザグルーム）が2023年11月21日に老衰のため死亡しました。

本馬は2-3歳時ジュライC、ナンソープSなどG1・2勝を含む8戦3勝の成績をあげ、1999年の欧州チャンピオンズプリンターに輝きました。引退後は米国で種牡馬入りし、2003年米国ファーストシーズン・チャンピオンサイアー、シャトル先のニュージーランドでも2003-2004年ファーストシーズン・チャンピオンサイアーとなりました。その後日本へ輸入され、2006年より静内種馬場で供用を開始、2018年まで種牡馬生活を送り、その後は功労馬として静内種馬場に繋養されていました。

（静内種馬場 場長 遊佐繁基 のコメント）

功労馬となってからは穏やかな余生を過ごしていました。突然の別れとなり残念ですが、どうか安らかに眠って欲しいと思います。これまでストラヴィンスキーをご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

◎ストラヴィンスキーの主な産駒

Balmont : ミドルパークS (英G I)

Serenade Rose : ATCオーストラリアンオークス (豪G I)

コンゴウリキシオー : 阪神マイラズC (G II)

アイラブリリ : 淀短距離S (L)

◎母の父としての主な産駒

モシーン : VRCオーストラリアンギニーズ (豪G I)

Tepin : BCマイル (米G I)

ゲンパチフォルツァ : 青竜S